

新インフルエンザ対策 No.25
 京都府丹後保健所HPバナー

新型インフルエンザ NEWS

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 京都府丹後保健所
 (丹後広域振興局健康福祉部)
 保健室 感染症・難病担当
 〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
 TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
 www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所 検索

もくじ

- ・新型インフルエンザ対策訓練……………①
- ・インフルエンザ流行状況……………①
- ・用語解説(高病原性鳥インフルエンザ)……………②
- ・日本における鳥インフルエンザ確認状況……………②

新型インフルエンザ対策訓練

東北地方で未曾有の大災害がありました。被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。映像をみているだけでも、自然の脅威と危機管理の重要性を改めて突きつけられたように感じます。

丹後保健所では、2月2日に消防署や京丹後市立久美浜病院、弥栄病院に御協力いただき、新型インフルエンザ訓練対応を実施しました。

旅行先にて、致死率の高い新型のインフルエンザ患者と接触したとの想定で、感染の可能性のある方の健康観察、専用外来での診察、重症者の搬送などの訓練をしました。体制を確認するだけでなく、必要な物品を準備し、関係機関と役割等も確認できました。

感染症を含めいつ起こるかわからない事案に関し、被害を最小限にとどめることを目標に、繰り返し訓練して、日頃から準備する努力が必要です。

新型インフルエンザ 訓練風景



H23.2.2 久美浜病院 専用外来



消防署職員による搬送



弥栄病院での訓練後の反省会

2010-2011 シーズン インフルエンザ (流行状況)

今シーズンの管内のインフルエンザによる休校・学年閉鎖・学級閉鎖発生件数(幼稚園・小・中学校)と定点医療機関あたりの患者数

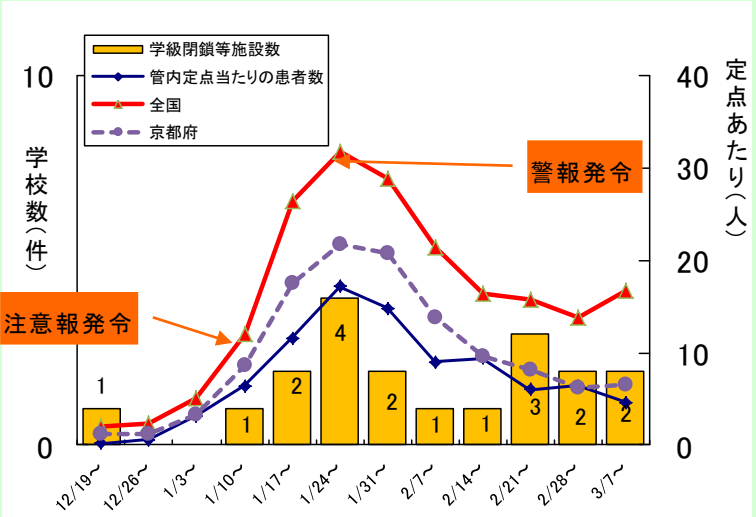
春はもうすぐ！ピークは過ぎたけど、注意は必要だよ！

丹後保健所管内では、昨年12月20日にはじめてインフルエンザによる学級閉鎖がありました。その後、1月下旬にサーベイランス定点調査で流行のピークを迎えました。

3月13日までに、3幼稚園、13小学校、3中学校の学級閉鎖等がありました。

全国レベルでは、1月下旬に警報に達しましたが、管内は警報には届かず、流行ピークは例年に比べて低いものでした。

ソナウレ君



(用語解説) 高病原性鳥インフルエンザ

鳥のインフルエンザの原因となるA型インフルエンザウイルスを一般的に鳥インフルエンザウイルスと呼び、自然界においてカモ、アヒルなどの水鳥を中心とした多くの鳥類が腸内に保有しています。

中でも、鶏に感染させた場合に高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザといい、原因となるウイルスとしてはH5亜型やH7亜型のものが知られています。

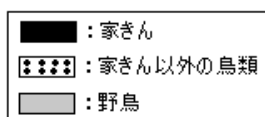
通常ヒトには感染しませんが、感染した鳥又はその死骸や内臓、排泄物等に濃厚接触した場合などに限り、稀に感染することがあります。また、鶏肉や鶏卵を食べることによってヒトに感染したという報告はありませんが、食中毒予防の観点からも十分な加熱調理(全ての部分が70℃に達すること)が勧められています。

今年の冬は、日本でも高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)に感染する野鳥や鶏が後を絶ちません。高病原性鳥インフルエンザが発生した際に農場の鶏を殺処分するのは、「家畜伝染病予防法」に基くもので、他の家きん類へのまん延を防止するためです。

また、その鳥インフルエンザウイルスが遺伝子の変異によりヒトからヒトへ効率よく感染する能力を獲得すれば、新型インフルエンザの出現となります。

参照：厚生労働省健康局結核感染症課「鳥インフルエンザに関するQ&A」

今シーズンの日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況



【家きんの状況】(括弧内は発生農場数)

平成22年11月 鳥根県(1)
 平成23年1月 愛知県(1)、宮崎県(7)、鹿児島県(1)
 平成23年2月 愛知県(2)、三重県(2)、奈良県(1)
 和歌山県(1)、大分県(1)、宮崎県(5)
 平成23年3月 千葉県(2)、宮崎県(1)

※家きん総数 約185万羽

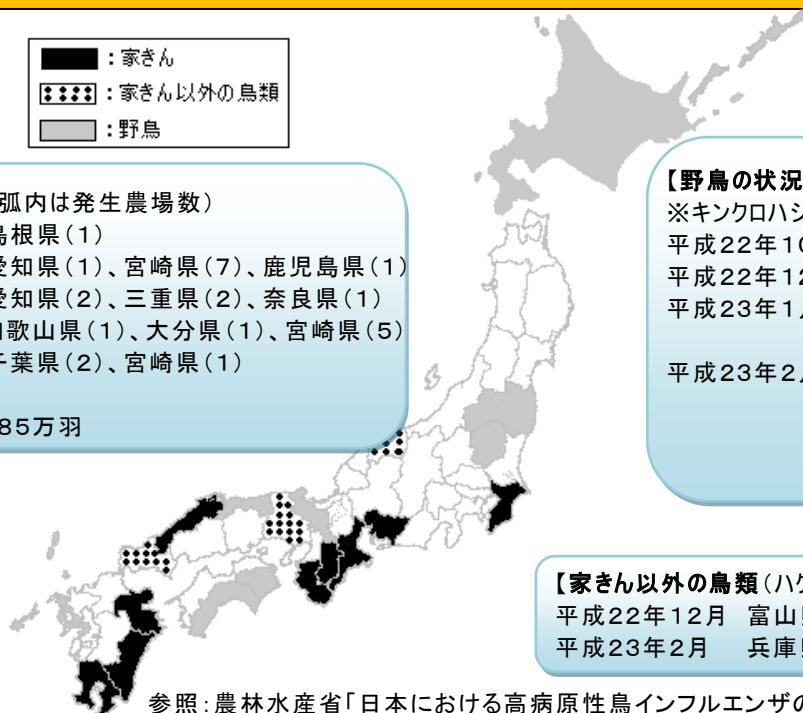
【野鳥の状況】

※キンクロハジロ、ハクチョウ類、ハヤブサなど

平成22年10月 北海道
 平成22年12月 鳥取県、鹿児島県
 平成23年1月 北海道、福島県、兵庫県、鳥取県、
 鳥根県、高知県
 平成23年2月 北海道、福島県、栃木県、京都府、
 兵庫県、鳥取県、鳥根県、山口県、
 徳島県、長崎県、大分県、宮崎県、
 鹿児島県

【家きん以外の鳥類(ハクチョウ等)の状況】

平成22年12月 富山県の動物園
 平成23年2月 兵庫県の公園、山口県の公園



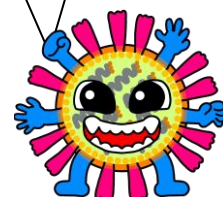
参照：農林水産省「日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況」

今シーズンは国内において高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)が多く発生し、3月17日現在で、家きんでの発生事例は全9県25農場約185万羽にのぼり、全て防疫措置がとられました。

世界での発生状況は、東南アジアを中心に、中東・ヨーロッパ・アフリカの一部地域で感染が確認されており、ヒトの症例はアジア、中東、アフリカを中心に報告があります。日本ではヒトの発症はありませんが、衰弱又は死亡した鳥又はその排泄物を見つけた場合は直接触れないようにし、もしも触れた場合には、速やかに手洗いやうがいをして感染予防を心がけましょう。

- ① タオルは乾いた清潔なものを準備し、こまめに洗濯しましょう。
- ② 通学や出勤等の外出の際には、清潔なハンカチを携行する習慣を身につけましょう。

俺様は野鳥に乗ってどこへでも行くことができるぞ！



パミック

お知らせ

新型インフルエンザ(A/H1N1)は平成23年3月末で新型の指定から外れ、4月以降は通常の季節性として取り扱われることとなる予定です。